

のっぽの手

発行●ふくしまNPOネットワークセンター

住所●〒960-8034

福島市置賜町1-29 佐平ビル8F

TEL.024(528)1211 FAX.(528)1218

「ふくしまNPOネットワークセンター」がスタート

代表理事 斎藤 実

「ふくしまNPOネットワークセンター」（以下、「センター」と略）は、去る4月8日設立総会を開催し、5月22日NPO法人格取得のため、福島県に設立認証申請を行った。昨年7月18日「ふくしまNPOネットワーク準備会」を立ち上げてから、シリーズによる研究会やフォーラムの開催、さらには数次にわたる内部討議を重ねるなど、着々と準備を続け設立に至った。当初計画では、2000年6月の設立を目指していたことからほぼ計画通り推進されたことになる。

さて、われわれの「センター」は何を目的に、どんなNPO活動を行うために設立されたのだろうか。NPO法（特定非営利活動促進法）第2条には、法に該当する12項目の活動を別表で定めているが、「センター」は福祉、教育、まちづくり、文化、環境など他の11の様々な活動団体の運営、連絡、助言、援助活動を行うサポートセンターの役割を担うことになる。県内には現在、既に認証を受け、または認証申請中のNPOは21団体に及ぶが、福祉に係わる活動団体が多く、サポートセンター的役割を持つのは「会津NPOセンター」である。したがって、「センター」は会津や他の方部のNPOとも連携し、県内一円をカバーするサポートセンターの役割を担うNPOの確立をめざしているのである。東北、北海道の各道県には既に県内一円をまとめるサポートセンターが設立されており、活発な活動を展開しているが、本県もようやく他県と肩を並べる活動を可能とする拠りど

ころが誕生することになる。

「センター」の具体的な活動内容は、①NPOや市民活動に関する情報の収集や発信、②活動の運営や交流についての支援・相談、③講習・研修会の開催、④調査・研究及び政策提言、⑤NPO、市民活動団体のネットワーク、⑥その他「センター」の目的を達するに必要な活動を行うこととしている。

以上、「センター」設立の経過や目的、実施する活動を簡単に紹介したが、われわれが今後基本的に追求し、実現しようとする課題は何か。第1には、国や地方自治体の財政破綻や競争原理の導入による「規制緩和」によって、市民の様々な社会的ニーズに行政が公的に対応することが困難になってきている中で、市民が自己の目的実現に向けて公的部門の一部を担い、公共・公益的活動に参加することによって、達成を図るという課題である。

第2には、まず自らの社会的使命（ミッション）を明確にするとともに、市民が持つ柔軟な発想と創意に基づく政策提言を行い、実現に向けた行動を積み重ね、社会的な影響力を広めていくと同時に、自己の力量を高めることが重要な課題となろう。

第3は、行政と市民との公共に関する役割分担や協働・パートナーシップのあり方について基本的な検討を行い、ルール化、システム化を図ることも重要であり、行政、NPO、市民等の参加による検討委員会を県に早急に設置し、本格的な議論を展開することを望むものである。

「ふくしまNPOネットワークセンター」がスタート

～発足までの主な経緯と今後の活動方向～

1998年3月に、いわゆる「NPO法」（特定非営利活動促進法）が制定されて以降、全国ですでに1千を超える市民活動団体が法人格を申請するなど活発化している。「NPO」という言葉は、Nonprofit Organization:Not-for-profit Organizationの略で、民間非営利組織と訳される。

福島県内でのNPO活動は他県に比べて少ない現況にあるが、7月現在、24団体が法人格取得への申請を行っている。「ふくしまNPOネットワークセンター」は、主に市民活動団体等へのサポートを目的に発足したもので、NPO法人としてこの8月から本格活動する。ここでは、本センター発足の背景や主な経緯について紹介する。

●これまでの主な活動経緯

<1999年>

5月　・ふくしま地域づくりの会主催・講演会

「NPOと市民活動」　講師：山岡 義典氏／日本NPOセンター常務理事

・協同組合シー・プレックス主催・講演会

「NPOとまちづくり」講師：山岡 義典氏／日本NPOセンター常務理事

7月　・「ふくしまNPOネットワーク準備会」（以下、「準備会」と略）が発足（県北地域を中心とした市民活動団体、企業、個人が参画）

9月　・「準備会」主催のセミナー開催

テーマ：市民活動からNPO法人化への実践

講 師：須田弘子氏（まごごろサービス福島センター）

吉田公男氏（ハートネット福島）

・NPOフォーラム99東北会議（会場・仙台市）への参加（準備会会員、他）

10月　・NPOフォーラム99東北会議・報告集会（準備会主催）

11月　・準備会、「どうすっぺふくしま博覧会」への参画（シンポジウムの開催）

テーマ：市民活動を盛り上げよう！

コーディネーター：星野珙二氏／福島大学経済学部教授

パネリスト：大隅義隆氏／福島県県民生活課

紅邑昌子氏／せんだい・みやぎNPOセンター

谷ヶ城隆氏／会津NPOセンター　吉田公男氏／ハートネット福島

山川充夫氏／福島大学経済学部教授　斎藤 実氏／準備会代表世話人

<2000年>

- 1月 ・「どうすっぷふくしま博覧会」への参画を契機として、「福島NPO研究会」が発足
代表：星野珙二氏／福島大学経済学部教授
福島NPO研究会は、市民と行政、企業等が望ましいパートナーシップを形成していくために、福島型のNPOのあるべき姿を探るために、開かれた議論・研究の場として発足した。
- ・第1回研究会
テーマ：最新のNPO事情について
ゲスト：遠藤哲哉氏／相馬市役所
- 2月 ・第2回研究会
テーマ：NPOの前史と阪神大震災以後のNPO活動
ゲスト：藤井敦史氏／東北大学助教授
- 3月 ・第3回研究会
テーマ：NPOと行政の連携
ゲスト：樋口美智子氏／宮城県環境生活部次長
- 4月 ・「ふくしまNPOネットワークセンター」設立総会開催（準備会の解散）
・第4回研究会
テーマ：山形創造NPOネットワークの活動
ゲスト：須藤路子氏／山形創造NPOネットワーク常務理事
- 5月 ・「ふくしまNPOネットワークセンター」が特定非営利活動法人設立認証申請書を福島県に提出（8月に認証予定）
・第5回研究会
テーマ：パワーアップいわきの活動
ゲスト：松田剛志氏／パワーアップいわき副理事長
小松崎幹郎氏／〃 理事
- 7月 ・第6回研究会
テーマ：心の豊かさを感じられるまちづくり～白河市におけるNPO活動～
ゲスト：佐川綾子氏／カルチャーネットワーク（白河市）

□研究会は今後、1か月に1回の頻度で開催予定です。どなたも参加できます。ふくしまNPOネットワークセンター事務局までお気軽に問い合わせください。

□ふくしまNPOネットワークセンターでは、法人化による本格活動にあたって、下記の要領でフォーラムを開催します。皆様の参加をお待ちしております。

開催日：2000年10月7日（土）PM. 13:00～

場 所：福島テルサ

※詳細は追ってお知らせいたします。

ふくしまNPOネットワークセンターの運営体制と活動方向

■法人化による活動を始動

「ふくしまNPOネットワークセンター」は、この8月にも特定非営利活動法人として福島県の認証を受け、本格的な活動のスタートを切ることになる。

本センターの設立趣意書では、活動目的を次のように述べている。

「お互いが助け合い、支え合い、知恵を出し合ってNPO活動や市民活動を進めるため、幅広く分野を超えたネットワークづくりを進めるとともに、広域な地域を有する本県の特性から、県庁所在地にある本センターが会津、県北、県南、浜通りのNPOの相互連携の拠点センターとしての役割を担い、市民活動の社会的基盤の整備と充実を図りたいと考えております。さらに、NPO団体の自主性、主体性のもとに、行政、企業と対等の立場からパートナーシップや協働を進め、新しい市民社会の構築を目指します。」

■活動方針

本センターは、前述の目的を実現するため民主的な運営と情報公開を原則として、以下の活動方針の元に進めていくことにしている。

- ① NPO・市民活動に関する情報の収集・発信
- ② NPO・市民活動団体の活動・運営に関する支援・相談
- ③ セミナー・研修会の開催
- ④ 調査・研究
- ⑤ 行政への政策提言活動

当面は、機動的で積極的な活動を展開していくための事務局体制や会員拡大が大きな課題となっている。

■役員構成

本センターの役員は、準備会段階からかかわってきたメンバーを中心として、次の方々が就任した。任期は2年で、これらの役員は二足、あるいは三足のわらじをはきながらの活動展開となる。

<代表理事>

斎藤 実／ふくしま地域づくりの会事務局長
佐藤和子／まちの和研究所代表
星野珙二／福島大学経済学部教授

<常務理事>

加藤節子／日本助産婦会福島支部

<理事>

中井勝巳／福島大学行政社会学部助教授
初澤敏生／福島大学教育学部助教授
佐藤昇司／北土社代表
遠藤哲哉／財ふくしま自治研修センター
阿部謙治／会社員
半田範彦／ペンション鳳舞山代表
須田弘子／NPO法人まごころサービスふくしまセンター代表理事

<監事>

高橋郁夫／弁護士
山川充夫／福島大学経済学部教授

■当面の重点活動

本センターは誕生したばかりで、いわばヨチヨチ歩きの状態にある。「サポート」を標榜してスタートしたものの、目下のところは自らをサポートしていくのが必死である。

当面は、情報収集・発信が重点課題であり、皆様の参画をお待ちしている。

ふくしまNPOネットワークセンターの理事に就任して ～私たちはこんな思いで『NPOセンター』を発足しました～

「ボランティア文化」の発展のために

これから市民活動にとってなくてはならない存在として、「福島NPOネットワークセンター」に微力ながらお手伝いをしていきたいと思います。安心感のあるまち、暮らしに役立つ便利な情報システムなど一人一人が生き生きと活動の場を広げることで市民の自立が、行政とのパートナーシップが築いていく信じています。

県内隅々まで「ボランティア文化」がゆきわたるように、また頼りになるセンターを目指して、努力して参りたいと思っております。

福島まごころセンター 須田 弘子

もう一足のわらじへのチャレンジ

つい先日、NPOについていきなり市民大学講座（福島市中央公民館主催）の皆さん面前で話をてしまいました。「私は専門家ではありません」と、主催者側に事前に断っておいたこともあって、主催者の講師紹介も苦しそうでした。主催者も本当は、『この分野で活躍の専門家をお招きして…』とあいさつしたいのでしょうね。

研究会を通してNPOのことが頭で理解できるようになってきたのは確かですが、まだ足が地に着いていない感じです。当センターでしばらく実践を積めば肌でも理解できるようになるのではないかと思っています。講師紹介者を少しは安心させたいものです。

福島大学経済学部教授 星野 瑛二

観光業におけるNPO展望

近年、お客様のニーズの多様化と小グループ単位での旅行形態は、業界や担当行政窓口機関にとっても新しい対応が迫られています。観光客の新しいニーズを列挙すると、

①温泉、レジャーの他、農業、健康、アウトドアなど広範囲のジャンル、業界にまたがっている。

②体験メニューや企画イベント志向が強く、多くのサポーター、インストラクターが必要となっている。

③広域的な回遊ルートは行政の単位を超えている。

④より具体的、刻一刻のインターネット情報が望まれている。

これらの課題に応えて、うつくしまふくしまの観光業を飛躍させるためには、第3のセクター「NPO」の存在が話題になるのはそう遠くないのではないか。

スカイエコー㈱代表 半田 範彦

身の丈にあった活動の展開

この都度、分をわきまえず「ふくしまNPOネットワークセンター」の理事を引き受けさせていただきました。

本会は、まだ生まれたばかりの赤ん坊です。高望みをするのではなく、身の丈にあった活動を進め、県民の皆様とともに成長していきたいと思います。先ず一つ一つの仕事を責任を持って完成させ、信頼を得ていきたいと思います。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

福島大学教育学部助教授 初澤 敏生

住民参加の推進のために

このたび、ふくしまNPOネットワークセンターの理事に就任しました中井勝巳です。私は、大学で地域開発・環境法を学生に教えていること也有って、日頃からまちづくりや環境保全への住民参加および住民団体のあり

方に関心を持っていました。そのとき、NPOネットワークセンターの立ち上げの話を伺い、参加させていただくことになりました。

NPOの勉強をしながら、法人認可の作業に加わってきましたが、いざ実際にスタートしてみると、課題満載の感が強いです。

私は今年で福島在住13年目に入りました。理事としての担当業務は、NPO研究会の企画・実施です。微力ながら頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

福島大学行政社会学部教授 中井 勝巳

NPOと行政のパートナーシップ形成のために

楽しく生きがいを持ってボランタリーな活動事業ができる仕組みが、NPOという組織だと思います。でも、NPOが活動を継続的に行っていこうとすると、巧みな組織運営の方法が問われてきます。そんな時に、当センターが県内NPOのお役に立てるよう、お手伝いできればと考えています。

私は勤務の傍ら大学でNPOに関する研究も行っています。研究の関心は、広く公共マネジメントにありますが、特にNPOとのパートナーシップの問題を行政の組織戦略の視点から考えていこうとしています。NPOと行政が、そのお互いの強みを生かして協働し、政策形成を図っていくような関係をぜひ創っていきたいものです。

(財)ふくしま自治研修センター・
東北大学大学院経済学研究科博士課程在籍
遠藤 哲哉

市民活動団体の力に感動し、暗中模索の中で出発しました

私は『まちづくり』を生業としており、以前から行政と市民とが協働できる仕組みはないのか、まちづくり(都市計画や公共事業等)に市民参画の方法はないものかと模索して無我夢中で走っていたら、「ふくしまNPOネット

ワークセンター」の発足に行き着いていました。

「NPO法人」として認証され、本センターがこれから何をやるべきか、何ができるのかなど私の中で暗中模索の状況です。

しかし、おぼろげながら活動の方向性は見え出しつつあります。その一つは、平成9年度から開催している「どうすっぺふくしま博覧会」(福島市を中心とした周辺地域で活動している市民活動団体のネットワークづくり)と連携したネットワークづくりです。また、「ふくしま地域づくりの会」(大学・市民・行政等の個人で構成)や仕事を通じて知り合った県内の様々な市民活動グループの方々のネットワークを構築し、その輪を大きくしていくことです。

次に、市民・行政・企業のパートナーシップについて、市民が求めている方向でのシステムづくりを進めていくことです。

ただ、迷い迷いの素人たちが集まってスタートした「NPOセンター」ですので、何がやれるかは未知数です。また、ふくしまでの「NPO」の必要性の認識や認知度は低く、当面、情報発信活動が重要なことではないかと考えています。福島版の「NPOセンター」を目指していきたいと考えておりますので、多くの皆々様のお知恵とご指導を宜しくお願い申し上げます。

まちの和研究所代表 佐藤 和子

事務局ボランティア求む

準備会から引き続き事務局を任せられました。今年前半は法人申請の手続きに費やされ、いよいよ8月には法務局への登記が行われます。

そして、10月7日(土)には記念シンポジウムを計画しており、その準備に追われる事になりそうです。それが済んだら秋・冬の研究会、受託事業、来年度の活動計画等々、やるべきことが山積しています。有償ボランティアや事務局スタッフのチーム作りが、以下の急務です。龍泉堂代表 加藤 雅昭

福島県におけるNPO法人申請・認証状況

※ 福島県におけるNPO法人の申請・認証状況（2000年7月20日現在）は、次のとおりである。

NO	名称	代表者	住所	主な活動内容	認証年月日	電話
1	市民活動センター	面来理恵子	郡山市桑野 1-22-11	保険・医療	1999.3.29	024-925-5881
2	クラブネット	黒須 充	福島市鎌田字町46-4	スポーツ振興	1999.7.7	024-536-0692
3	フォーラムパワー アップいわき	遠藤 浩	いわき市平三倉69-6 松田ビル3F	まちづくりサポート事業	1999.7.21	0246-22-6936
4	まごころサービス 福島センター	須田弘子	福島市御山字東壁谷沢 22-1	在宅介護サービス等	1999.8.11	024-554-1632
5	会津NPOセンター	谷ヶ城隆	会津若松市七日町9-7	まちづくりサポート事業	1999.8.17	0242-39-4806
6	みどりの花の大地学園	濱須篤義	原町市高見町 1-208-1	環境保全活動	1999.9.14	0244-22-0831
7	さくら訪問看護協会	田部キヨ子	会津若松市一箕町大字屋旗八幡字牛ヶ墓 137-3	保険・医療・福祉の推進	1999.9.14	0242-26-8712
8	子育てさぼーとくらぶ	長尾良夫	本宮町大字仁井田字樹形 42-60	子どもの健全育成事業の推進	1999.10.5	0243-34-3640
9	後藤至誠記念会	後藤ハツ子	郡山市安積町成田字漆山 50	保険・医療・福祉の推進	1999.12.24	024-937-3151
10	福島県高齢者・障害者住宅支援協会	北村孝男	福島市北矢野目字成田小屋 12	高齢者・障害者住宅づくりへの支援	2000.3.16	024-545-3324
11	日本介護協会	阿部雪子	郡山市西の内 1-11-12 カーサ国分 1F	保険・医療・福祉の推進	2000.3.28	024-936-3270
12	まごころサービス 国見センター	東海林一樹	伊達郡国見町大字藤田字南 54-2	在宅介護サービス等	2000.3.23	024-585-2002
13	ライブラリー小高訪問看護ステーション	加藤トミ子	相馬郡小高町小高字金谷前 84	在宅訪問介護事業	2000.3.23	0244-66-2722
14	サスティナブル・コミュニティ研究所	小門裕行	福島市荒町 4-7	まちづくり事業の推進	2000.4.19	024-521-3141
15	ふれあいらんど	岡田宗延	原町市北町 379-1	在宅福祉サービス	2000.3.29	0244-22-1681
16	喜多方子ども劇場	岩田ちう	喜多方市字常盤台 58	子どもの健全育成	2000.4.25	0241-23-2745
17	まごころサービス 郡山中央センター	加藤征一	郡山市桑野 2-35-13	在宅福祉サービス事業	2000.4.19	024-939-0534
18	介護福祉組合	濱須義昌	原町市牛越字館下 136	訪問介護事業	申請中	0244-24-4999
19	カルチャーネットワーク	鈴木昭	白河市字中田 140 白河市文化センター内	文化・芸術・スポーツ振興	"	0248-22-5220
20	よつばのクローバー	西野喜久子	福島市成川字五反田 9-1	在宅福祉サービス	"	024-539-8861
21	ふくしまNPOネットワークセンター	斎藤実 佐藤和子 星野瑛二	福島市置賜町1-29佐平ビル 8F	福島県内を対象にしたNPOサポートセンター	"	024-528-1218
22	介護支援協会	松尾三千子	原町市牛越字館下 136	保険・医療・福祉推進	"	0244-24-5043
23	豊心会しあわせ介護支援センター	阿部弘	須賀川市桜岡 124-2	保険・医療・福祉推進	"	0248-76-7313
24	FBC事務所	高橋功	福島市笹谷字大谷地 16	社会教育、子どもの健全育成	"	024-522-9118

「ふくしまNPOネットワークセンター」への会員を募集しています。

●福島NPOネットワークセンターでは、NPO活動・市民活動を支援していく会員を募集しています。

■月 833 円で、私たちの未来を開くまちづくりのお手伝いに参加してみませんか。

●正会員 年会費 10,000 円 ●準会員 年会費一口 5,000 円

■会員特典

- 本センター開催のセミナー・研究会などに優先的に参加できます。
- NPO活動や市民活動などで何か困っていることがあれば相談することができます。
- NPO活動・市民活動の情報をえることができます。
- 隔月刊の本センターの情報誌が届きます。
- 他の市民団体等との連携などをサポートします。

編集後記

なれない道具（パソコン）を使いながら、8頁もある創刊号を何とか作り上げました。暑いなかでの作業でしたので、へとへとです。最初からこれでは継続できないと思います。情報誌作りに関心のある方を早急に発見し、ともに歩むスタイルをつくることの大切さを、実感しています。懼より始めよ、ということでやってはみたが、何事も体力が必要なことは自明です。（昇）

のっぽの手

NPOという言葉が、「のっぽ」に重なってきた。目をキヨロキヨロ、耳をそばだて、情報のセンター基地よろしく背伸びし、『野つ穂』という庄野からの豊かな実りを実現するために手をさしのべ携えていく、というイメージです。

福島NPOネットワークセンター

事務局

TEL.024-528-1211㈹ 960-8034
福島市置賜町 1-29 佐平ビル 8F
FAX.024-528-1218
<http://sendai.cool.ne.jp/fukushimanpo/>